

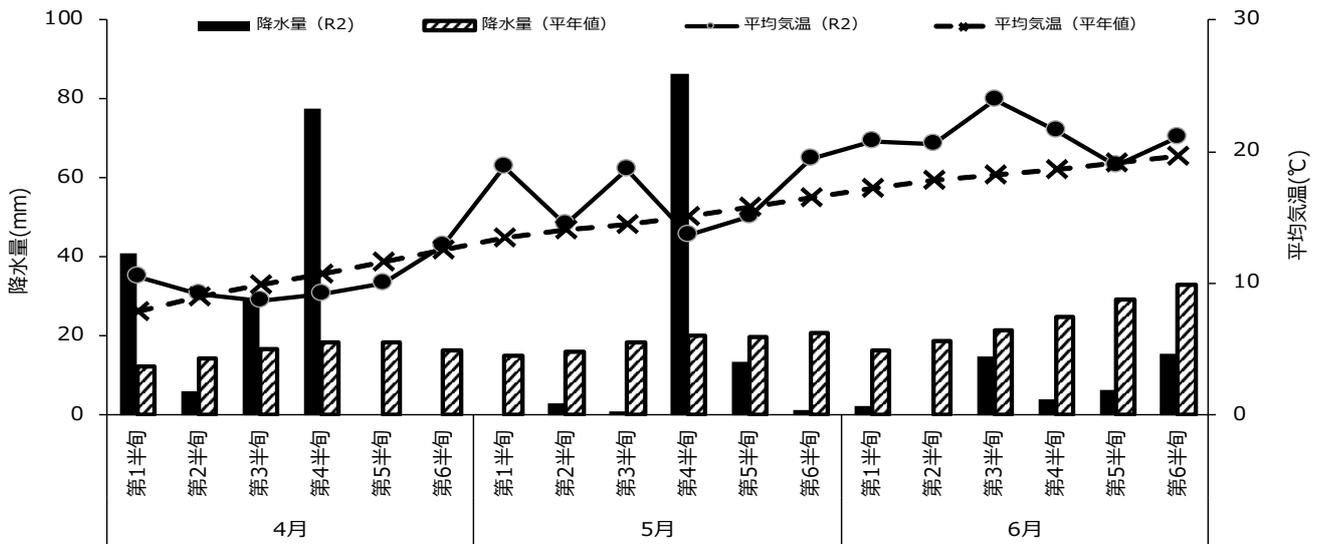
仙台稲作情報2020（第5号）

宮城県仙台農業改良普及センター TEL：022-275-8410 FAX：022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail：sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

栽培管理のポイント

- ▷ 中干しは、幼穂形成期前までに終わらせましょう。
- ▷ 病害虫防除は、防除適期を逃さず計画的に実施しましょう。
- ▷ 追肥は、稲の葉色や生育ステージを確認して実施しましょう。

1 気象経過



2 管内の生育状況（7月1日の調査結果）

(1) 移植栽培

- ・草丈は、いずれの品種においても前年並または前年を上回っています。茎数は、前年を下回るほ場もありましたが、概ね前年を上回っています。葉色は一部のほ場を除いて前年より低い傾向にあります。
- ・6月は平均気温が高く推移しており生育は順調です。
- ・今回の調査では、幼穂は確認できませんでした。

品種	ほ場 (地帯区分)	田植月日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (枚)			葉色 (GM値)		
			本年	前年 比%	平年 比%	本年	前年 比%	平年 比%	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台市宮城野区岡田 (仙台湾沿岸)	5/14	45.9	98	100	420	111	99	9.6	-0.5	-0.3	42.4	-1.2	1.4
	大郷町鶴崎 (北部平坦)	5/21	46.5	103	100	692	129	134	9.0	-0.8	-1.1	45.4	4.2	2.4
	仙台市泉区福岡 (西部丘陵)	5/15	51.1	94	-	482	90	-	11.2	0.3	-	43.9	-0.2	-
	管内平均		47.8	99		531	110		9.9	-0.3		43.9	0.9	
ササニシキ	仙台市若林区長喜城 (仙台湾沿岸)	5/4	60.7	139	132	588	142	139	10.7	-0.1	0.6	42.0	0.2	1.0
	大和町鶴巣 (北部平坦)	5/9	46.5	97	-	635	84	-	9.9	0	-	43.3	-2.8	-
	管内平均		53.6	118		612	113		10.3	-0.1		42.7	-1.3	
だて正夢	仙台市若林区三本塚 (仙台湾沿岸)	5/25	50.8	107	-	493	128	-	9.7	-0.4	-	44.2	-0.7	-
	大郷町土橋 (北部平坦)	5/16	50.4	116	111	494	138	138	9.4	-1.1	-0.4	44.5	-2.4	-0.8
	管内平均		50.6	112		493	133		9.6	-0.8		44.4	-1.6	

※ 前年比差は、平成29年から令和元年の3年平均

(2) 湛水直播栽培

草丈は46.1cm、茎数は533本で前回調査より倍増しており、有効茎数を確保しています。葉数も前回調査より2枚増加して9.3枚となっており、生育は良好です。

表 7月1日の調査結果

品種	ほ場 (地帯区分)	播種 月日	草丈 (cm)	茎数 (本/m)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
ササ	大和町桧和田 (北部平坦)	5/3	46.1	533	9.3	46.5

※今年度から調査ほ場及び品種を変更したため、本年値のみとなり、前年値、平年値はありません。

3 地帯別生育ステージの予測 (7月1日現在)

古川農業試験場による地帯区分別の生育ステージの予測は以下のとおりです。

表 地帯別生育ステージの予測 (7月1日現在)

地帯区分	田植時期		幼穂形成始期		減数分裂期		出穂期	
	始期	終期	始期	終期	始期	終期	始期	終期
北部平坦	5/3	5/20	6/30	7/11	7/10	7/21	7/30	8/7
南部平坦	5/5	5/20	7/2	7/11	7/12	7/21	7/31	8/6
仙台湾岸	5/3	5/24	6/30	7/13	7/10	7/23	7/30	8/8
西部丘陵	5/5	5/23	7/4	7/14	7/14	7/24	8/3	8/10
山間高冷	5/11	5/26	7/12	7/19	7/22	7/29	8/11	8/17

※6月30日までアメダスデータ実測値使用、7月1日以降はアメダス平年値を使用

※対象品種「ひとめぼれ」「ササニシキ」

4 本田管理

移植栽培

(1) 水管理

- 中干しは遅くとも幼穂形成期前に終了し、終了直後は走り水程度として徐々に湛水状態に戻しましょう。その後は、出穂期まで飽水管理とし、土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持しましょう。
- 幼穂形成期から減数分裂期に、日平均気温20℃以下が長期間続く場合や最低気温17℃以下の場合には障害不稔が発生する危険性が高くなりますので、できるかぎり深水管理を実施しましょう。

※幼穂形成期：幼穂長1～2mm 減数分裂期：幼穂長30～120mm

(2) 病害虫防除

①いもち病

- 箱施用剤の効果が低下し始めるとともに、葉いもちの感染好適条件となりやすい時期です。上位葉で発病した葉いもちは穂いもちの伝染源になります。日照時間の少ない日が続いていますので、葉いもちの発生に特に注意し、発生が確認された場合は直ちに茎葉散布剤で防除しましょう。
- 特に、窒素過剰により稲が軟弱徒長気味で葉色が濃い場合は、早期発見に努めましょう。
- 穂いもちの予防剤は出穂30～5日前に使用する剤が多いので、生育状況をよく観察し、出穂期の予測に基づき適期に散布しましょう。

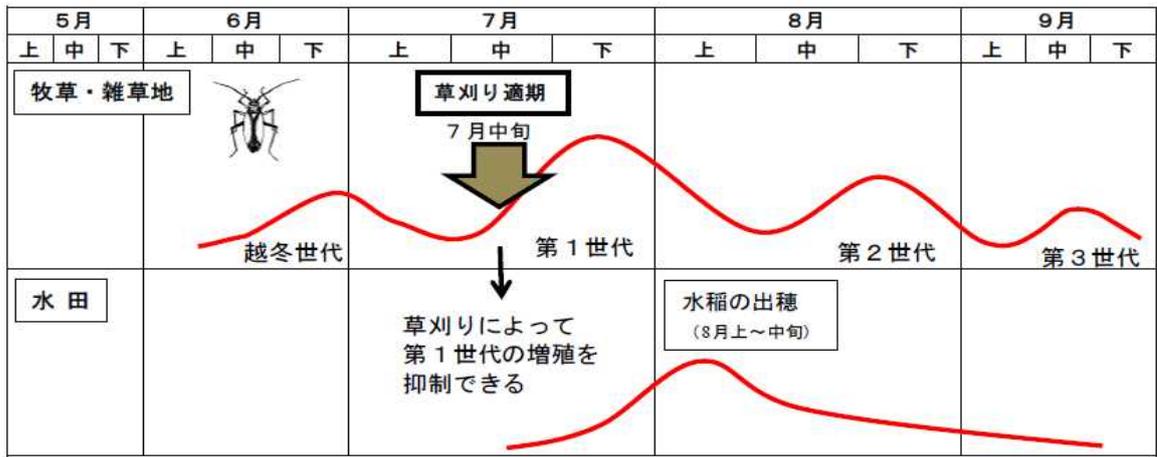


進行型病斑

【参考】BLASTAM (ブラスタム) による葉いもちの感染好適条件の推定結果は、病害虫防除所のサイトをご覧ください。<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

②斑点米カメムシ類

- 斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、7月中旬までに休耕田や土手・畦畔等の除草に努めましょう。
- 水田内のヒエやホタルイ類の雑草も、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。残草がある場合は、幼穂形成期前までに適切な剤を散布して防除しましょう。



③紋枯病

- ・高温で降雨日数が多いと株間の湿度が高まり、幼穂形成期頃から発生が目立つようになります。出穂期前からの発病は被害が大きくなるので、発生に注意しましょう。
- ・前年に発生が多かったほ場では多発のおそれがあります。穂ばらみ期の水面施用剤、出穂期頃の茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・病斑は水際の葉鞘に現れるので、茎葉散布剤による防除では、株元に薬剤（液剤、水和剤、粉剤）がよく付着するよう十分な薬量で散布しましょう。



病斑

④稻こうじ病

- ・穂ばらみ期に低温で降雨日数が多い条件下で発生しやすくなります。
- ・ほ場に残った菌核などが伝染源となるため、前年に多発したほ場では注意が必要です。
- ・銅剤は予防効果が高く、出穂20~10日前が散布適期です。



発病粒

(3) 追肥

- ・葉色は今後低下することが予想されます。ほ場をよく観察し、適切な追肥を行い穂揃期の葉色維持に努めましょう。
- ・追肥の効果、追肥時期の葉色、品種ごとの時期及び施用量については下表を参考にしてください。
- ・ほ場により生育が異なるので、幼穂長による生育ステージの確認を必ず行いましょう。
- ・追肥後一時的に稲体窒素濃度が高くなると、いもち病に対する抵抗力が弱くなるので、いもち病の発生に注意しましょう。
- ・基肥に穂肥の時期まで肥効のある緩効性肥料を施用した場合または復元田の場合は、倒伏が懸念されるため、原則として追肥は行いません。

表 穂肥窒素の施用時期と生育要因への影響

施用時期	生産要因への影響				
	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏
幼穂形成期 (幼穂長1~2mm, 出穂25~20日前)	○	◎	○		×
減数分裂期 (幼穂長30~120mm, 出穂15~10日前)		○	◎	◎	

◎効果高い ○効果あり ×悪影響あり

表 生育ステージにおける葉色の目安（主な品種）

品 種	幼穂形成期（出穂25～20日前）		減数分裂期（出穂15～10日前）	
	カラースケール	葉緑素計（SPAD値）	カラースケール	葉緑素計（SPAD値）
ひとめぼれ	4.2～4.5	37～39	3.9～4.2	35～37
ササニシキ	—	—	3.4～3.7	32～34
まなむすめ	3.9～4.2	35～37	—	—

表 穂肥の標準的な窒素施用量の目安

品 種	窒素施用量（成分量/10a）	
	出穂25～20日前 （幼穂形成期）	出穂15～10日前 （減数分裂期）
ひとめぼれ 金のいぶき	1.0kg	1.0kg
ササニシキ	—	1.0～1.5 kg
つや姫 まなむすめ	2.0 kg	—
だて正夢	— （茎数が少ない場合は1kg）	2 kg （幼穂形成期に1kg追肥し た場合は1kg）

湛水直播栽培

（1）中干し

湛水直播栽培では、播種深度が浅く、稲体が株元から倒れる「転び型倒伏」が発生しやすいので、徹底した中干しが必要です。目標穂数の80%が確保された頃を目安に中干しを実施し、土壌を硬化させ株元の支持力を強化させましょう。

（2）葉いもち

直播栽培は、移植栽培より生育ステージが遅く、全般に葉色が高く推移しやすいことから、葉いもちが発生しやすい傾向があります。ほ場を見回り、早期発見に努めましょう。

5 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（7/2 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高い見込みです。特に期間の前半に気温がかなり高くなる見込みです。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並か多いでしょう。
- 向こう1か月の日照時間は東北日本海側で平年並か少ない見込みです。

■農薬危害防止運動実施中（令和2年6月1日から令和2年8月31日まで）

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。
- ・最新の農薬登録情報は、農林水産省消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

次回の稲作情報第6号は、7月10日に実施する生育調査の結果をもとに7月13日頃の発行となります。